

学科としての教員養成の目標、計画、教育の質向上の取り組み

工学部 機械システム工学科（高一種免（工業））

①教員養成の目標

福山大学は、教育基本法に則り、学校教育法の定めるところに従い、幅広い知識とともに深い専門の学芸を身につけ、知的・道徳的及び応用的能力を展開できる、人格円満で教養の高い有為な人材を育成することを目的としている。その目的のもとで、工学部では、各専門分野における高度な工学専門知識・技術を習得し、広い視野と豊かな人間性を備えた実践的な技術者を育成し、各専門分野における新しい技術を創造する。また社会安全工学教育にも重点をおき、社会に貢献する人材の育成を目的としている。機械システム工学科では、あらゆる産業の基盤となる機械工学の安心・安全な社会創出のための社会安全工学の実践的な学修と研究を行う。幅広い機械工学の知識・技術、機械技術者に求められる創造力、考えぬく力、実践力を身につける。また社会人としての汎用基礎力を向上するとともに、技術者倫理を自覚し、社会貢献できる高等学校工業教諭（第一種）の育成を目標とする。

②教員養成の計画

教員育成の目標を達成するために、大学4年間において、語学、教養教育科目、専門基礎科目、専門科目などを系統的に教授できるようなカリキュラムを計画している。機械システム工学科では、各コース、分野の一般基礎知識から応用知識の習得、汎用技能から実践技術の習得、学ぶ意欲の向上から社会貢献に至る態度に関して、教育プログラムを設定している。

教科に関する科目では、機械工学の基礎的科目を必修とするのはもちろんのこと、他学科の概論科目も必修とし、総合的な知識・技術を計画している。

③教員養成教育の質向上の取り組み

学内に設置された教職課程委員会において、科目の担当者、シラバス、時間割、教育実習校への視察、教員免許申請の可否など、教職課程の運営や教職指導の内容について討議し、教員育成教育の質を向上させる取り組みが行われている。各学年の教職課程履修学生に対し、学科の教職課程担当教員が個別に履修指導、教職指導を実施している。とくに、4年次の教育実習においては、実習期間中に実習校に赴き、実習校の指導教員とともに実習内容の充実を図っている。
